

web3社会実装の事例 – freebit Edge LLM

生成AIの取り組みとしてfreebit Edge LLMを開発

- 大規模言語モデル (LLM) は、消費電力が大きいことや、データの漏洩や不正アクセスのリスクが存在し、セキュリティ面やプライバシー面での懸念といった課題がある

フリービットは、スマートフォンを使った電力消費が少なくデータがスマートフォンの外にいかない※1安心・安全なLLMを自社開発。トーンモバイルの既存サービスと連携し、子供のSNS利用における危険度をAIが判断※2し、保護者に通知するシステムを構築する予定です。

- AIの機能を進化させるため、AIトレーニングセンターにて日々機械学習を実施。また「freebit Edge LLM」は外部のLLMと連携し、より機能を拡張することも可能

freebit Edge LLMの三方よし

- ファミリー向けの高品質サービスで信頼を獲得
- 利用拡大によるノウハウの蓄積で、更なるサービス提供の促進



- SNS利用の危険から保護
- 安心、安全のスマホ環境

- 子供のスマホ利用における安全性を確保
- 子供を取り巻くSNS犯罪への対策

freebit Edge LLMのスキーム

外部の大規模言語モデルと連携してより詳細な回答を生成するモデル（保護者が設定）

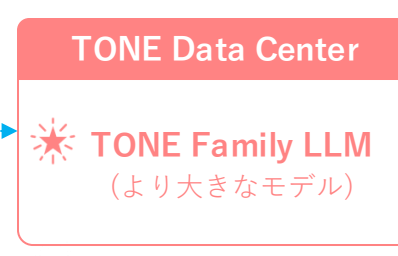
1 SNS
メッセージ

2 安全性判断

3 更なる分析依頼

4 回答を生成

5 生成結果文章を保護者に通知



TONEファミリーの
仕組みを使って保護者に
危険度を通知



AIの性能向上のため、AIトレーニングセンターを活用した機械学習を継続的に実施



汎用のLLM

危険性を評価するための基準を持っておらず、危険かどうか判断できない



大量の危険性判断
データによる「学習」



トレーニングしたモデル

人間の評価から危険性を評価する基準を学習し、危険かどうか判断できる

freebit
smartworks

eKYC

BPOセンター

コールセンター（サービス、サポート）

業態転換

AIトレーニング
センター

※1 データがスマートフォンの外にいかない
メッセージが危険と判断された場合、その判定結果（当該メッセージを含みます。）を保護者に通知します。
通知された判定結果は保護者が自ら削除するまで、フリービットグループの契約するサーバー上に保存されます。

※2 危険度をAIが判断
「freebit Edge LLM」による判定はあくまでAIが独自に算出したものであり、危険度やその判定の正確性、判定結果等を保証するものではありません。AIの判定結果には、学習データに基づくバイアスやハルシネーション等の可能性があります。

web3社会実装の事例 – 医療情報の連携基盤



web3による医療DX / Trusted Webの社会実装 「藤田医科大学病院との共同研究開発プロジェクト」

👍 医療の三方よし / 共同研究開発の目指す姿

- 藤田医科大学病院と共同で進めている、医療ビッグデータ（RWD）を活用するプラットフォームを構築し、サービス化するプロジェクト
- 「医療DX令和ビジョン2030」の指針に沿って医療サービスのデジタル化を目指している



詳細

- 国が推進する「Trusted Web」の概念とweb3技術に基づく分散型ID（DID）を活用した、患者主権型で医療情報の持ち運びが可能なシステムの開発を行っていく
- プライバシー侵害などのリスクを低減しながら、データや取引の信頼性を高め、安全かつ自由に管理・共有することを目指す

三方よし
目指す姿

- 診療の迅速化と正確性、効率性の向上
- 研究開発への活用促進
- 医療情報が患者個人に紐づくため、情報の分断がなくなり、効率的な医療提供が可能となる



- 自主的な健康管理の実現
- 質の高い医療の享受
- 医療情報が全国の病院や国・自治体で共有され、いつでも均質のサービスをうけることができる
- 医療の効率化、医療資源の適正な利用促進
- 国民の健康増進と医療コストの削減
- 医療情報が連携されることで適切な医療施策の提供を行うことができる

🔍 web3技術を活用し、患者個人、病院や研究機関、国や自治体の間で医療情報をセキュアかつ便利に連携できることを目指します

活用例

- web3技術を活用した医療データ管理システム
- マイナンバーを活用した共同ID

★★ 共同研究開発がもたらす効果

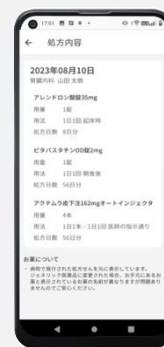
- web3をはじめとした技術と藤田医科大学病院が持つ豊富な医療データを組み合わせることで、革新的な医療データ管理システムを構築
- 自分の医療情報を管理できるようになり、過去の治療歴や診断結果などの情報を各医療機関へ共有することで、診療の効率と質が向上

PoC（概念実証）1の実施

藤田医科大
PHR※アプリ

処方内容

検査結果



- 当社が開発したTrusted Web構造のPHRアプリをTONE端末とセットで貸与
- 患者のご自宅で医療データを実際に見ていただく

- 医療リソースの不足や合理化などの課題解決にもつなげていく
- デジタル技術活用により、医療の質向上だけでなくコスト削減にも寄与

患者、医療機関、国・自治体など多くのステークホルダーにとってメリットが大きく、今後の医療分野の発展にフリービットグループは大きく貢献していく

web3社会実装の事例 – StandAlone

web3によるクリエイターのためのオリジナルコミュニティアプリ「StandAlone」

StandAloneの三方よし / 目指す姿

- 「StandAlone」は、クリエイターとファンの間の直接的な関係を深めることを通じて、新たなクリエイティブエコシステムを構築することが目的



web3化

クリエイター

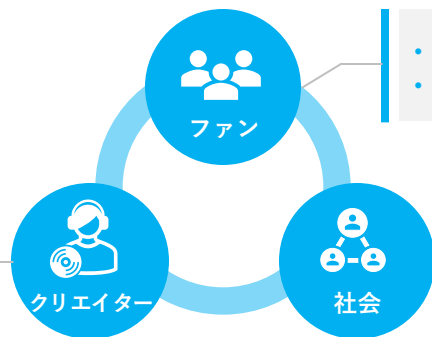
自身の作品とその収益に対して完全なコントロールができる

ファン

クリエイターを支援するために、より大きな貢献を果たすことが可能

▶ より安全かつ使いやすいプラットフォームの構築、活気あるDAOコミュニティの育成に注力していく

- 創作物の所有権や収益化の透明性向上
- クリエイターの独立性と経済的自立の促進

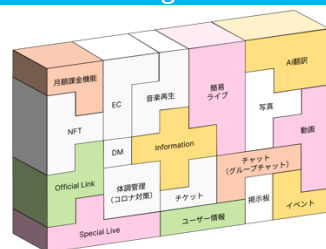


- 創作活動の至近支援
- より豊かなファン体験の実現

- 新たな才能の発掘や多様性の促進
- 中間者のコスト削減や効率的なリソースの分配

プラットフォーム

StandAlone Building Blocks



独自規約/レギュレーション



ファン

クリエイター自身がプラットフォームとなり、独自のルールによるコミュニティ運営でファンとの自由な接点を創出



今後の展開



短期

- web3とDAOの基盤を構築、パイロットプロジェクトとしてクリエイターとファン向けのDAOを形成し、システムの改善と拡張を図る
- クリエイターとファンにweb3やDAOの概念を理解してもらうプログラムとDAO参加者のサポート体制を整える



長期

- グローバルクリエイターが世界中のファンとつながるため、AI翻訳の機能拡充などによりコミュニティの国内外への拡大を支援し、クリエイターとファン向けに多様なサービスをグローバル展開

展開中のStandAlone一覧

坂口 健太郎
info.s赤楚 衛二
EAWD山本 舞香
Mk.ZeRo.窪塚 愛流
AiRu永田 崇人
NAGATOWN柊 太朗
TOTAROPlay.Goose
P.G
@STAND ALONE梶 島 光
Hikaridayori池 添 謙一
TEAM KEN.1坂 井 瑠 星
RS
Jockey Room渡 辺 碧 斗
BLUE

グローバルクリエイター支援/web3

web3技術などを含めたITプラットフォームの提供/開発で全面支援するための提携として、Dean Fujioka (ディーン・フジオカ) 氏のファンコミュニティ「FamBam」において、「世界中のファンと直接つながる」ことを目指しアプリをリリース

今後はweb3型の相互貢献的な仕組みやAI技術により多様な個人のつながりをサポートすると同時にweb3技術やBlockchain技術が「信用」を与え自律的に発展していく仕組みを展開していく

StandAlone